

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2021年 12 月 30 日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう浅口

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である		1	3	子ども達の成長と共に運動室が狭く感じられるようになったため、運動プログラムについては全員で取り組めるプログラムを増やした。
	②	職員の配置は適切である	4			人員配置に不足なし。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4			通常の清掃に加えて、COVID-19対応(消毒・換気)も実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			正社員は朝の出勤時、情報共有しており、出勤時間の異なるパートタイム職員には引継ぎノートの閲覧を依頼している。必要に応じてデータを取り確認を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			例年通り実施。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			事業所内で支援や行事企画についての全体ミーティングを開催している。また虐待防止・身体拘束・権利擁護・障がい特性の理解について・衛生管理・緊急時対応などの研修を受けている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			保護者様のニーズに加え、子ども本人の意思決定を導き出して計画に反映したい。現状では保護者様のニーズと子ども本人の課題の度合いが高い。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			全職員協力して計画立案している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			他事業所との情報共有を有効活用している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			季節や行事を感じられる活動を計画し、支援に活かしている。放課後と学校休業日の利用時間の違いに応じて活動内容を設定している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			基本的には集団活動を行っているが、子どもの特性(聴覚過敏等)や身体的状況に応じて個別対応による活動も行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		支援開始前に打ち合わせを実施している。出勤時間の遅いパートタイム職員とは口頭での打ち合わせは難しい面があるが、業務日誌等により情報共有し確認を依頼している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		日々の支援の内容は記録・保管・検証し改善につなげている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			半年に1回モニタリングを実施している。また必要に応じて適宜、話し合いの機会は設定している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4			確認しながら支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			送迎時に月間予定表の配布をしてくださる学校や下校時間の変更予定をお知らせくださる学校が多く情報共有は順調である。また、送迎の際、学校での様子を引き継いでくださる先生もいらっしゃるのありがたい。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	2		保育所・幼稚園・認定子ども園との情報共有はないが、児童発達支援事業所からの情報提供はあり支援に活かせるため感謝している。学校で子どもの担当者会議を開催される機会もあり関係機関との情報共有の機会となっている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している			4	現在、障がい福祉サービス事業所への移行事例がない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		児童発達支援センター、自立支援協議会、市役所の社会福祉課等、必要に応じて連携している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			送迎時にお目にかかる保護者様には利用の様子をお伝えしている。また詳細については連絡帳や連絡帳機能のアプリ(コドモン)にてお伝えしている。専門機関への受診の際、事業所での活動の様子を文書でお伝えする機会、受診結果の報告をいただく機会もある。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明している。また随時、必要に応じて説明実施している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4			随時対応している。対面・電話・メールによる文書等、連絡ツールも様々なため、保護者様のライフスタイルに応じた時間帯や方法で対応している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している			4	コロナ対策のため本年度は開催できなかった。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情は発生していないが、発生の際の対応体制は整備している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			ブログ・月間行事予定表・おたより等で情報を発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	4			個人情報の扱いについては書類関連は事業所内に保管。持出厳禁を維持。各自職員も就職・退職の際、個人情報保護厳守の誓約書を提出。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			分かりやすく伝えられるよう必要に応じて個別対応をとっている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている			4	長引くコロナ禍の影響で参加可能な地域行事がなかった。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			毎年、避難訓練を実施している。今年度は3月に実施予定。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			毎年、虐待防止の研修に参加している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			契約時に身体拘束の必要がある場合についての説明は実施している。現状では自事業所内に身体拘束の必要なケースなし。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			必要に応じて実施している。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			事業所内で実施、共有している。